



「武蔵野市議会議員」

かんげんたろう

# 菅源太郎

市議会会派「立憲民主ネット」  
〒180-8777 東京都武蔵野市緑町2-2-28(市役所内)

## 市政レポート

2024年初夏号

vol. 02

## 「隠しごとのない市政」は看板に偽りあり!!

—武蔵野市長へ猛省を求める決議を可決—



菅源太郎 議員

猛省決議に賛成討論(5月9日)

### 教育長任命同意手続における市長の不適切な対応

市議会は3月26日、小美濃市長から教育長任命の同意を求められ、全会一致で同意しました。ところが市長は議案提出前の3月22日、賛否の判断に関わる重要事項、任命する人物が所属機関からハラスメントを理由に懲戒処分を受けた事実を知らず、その事実を議会に伝えませんでした。

市長は4月3日の各会派代表者会議懇談会で、議会に伝えなかった理由として「大きな話にしくなかつた」と言いましたが、それなら各会派に事情を説明のうえ議案提出を見送るべきでした。就任1ヶ月で教育長が辞職するという、市政とくに教育行政の停滞を招く事態となりました。市長の甘い認識や見通しによる判断自体が間違っていたわけで、それだけ責任は重いです。

市長は5月2日の代表者会議で「意図的に隠したわけではない」とも言いました。市長は昨年12月の選挙で「隠しごとのない市政」を公約しています。もし意図していなければ「隠しごと」にあたらぬなら、「隠しごとのない市政」の看板に偽りありです。

このことは「議会出身」の市長であると強調していたこととあわせ、議会そして市民との信頼関係を著しく損ねるものです。

### 臨時議会が招集される

じつは4月3日にこの事実を知らされてから、臨時議会の招集、全員協議会での説明、問責決議案の提出をめざす様々な動きがありました。最終的には教育長が辞職する一方、5月9日に臨時議会が行われました。ただ第1回臨時会は、教師用指導書の買入れについて議会の議決を必要とする2千万円以上であったため、市長がその追認を議案として招集したものです。

第1回臨時会は専決処分や教師用指導書の買入れの議案を承認・可決した後、市長自ら提出した、市長が月額2割1ヶ月、副市長の一人が月額1割1ヶ月削減する「武蔵野市長及び副市長に支給する給料の特例に関する条例」を全会一致で可決しました。条例の提案理由に「武蔵野市教育委員会教育長の任命における対応」を挙げており、条例の質疑および討論で、これまでの経緯と対応について議員から厳しい指摘が相次ぎました。

そのうえで市長自身のけじめとは別に、議会から市長への意思表示として「武蔵野市長へ猛省を求める決議案」が立憲・共産・維新・無所属の議員によって提出され、賛成16、自民・公明の反対9で可決しました。

### 議会同意人事審査の充実を求める

事情があるにせよ教育長の任命に同意した議会の責任を痛感しています。従来から副市長や教育長の議会同意人事は、市長から各会派に事前説明はあるものの、議案としては配布された経歴をもとに、委員会に付託せず本会議で即決していました。

教育長については2014(平成26)年の法改正で権限が強化されたため、文部科学省の通知でも「教育長の任命の議会同意に際しては、新『教育長』の担う重要な職責に鑑み、新『教育長』の資質・能力を十全にチェックするため、例えば、候補者が所信表明を行った上で質疑を行うなど、丁寧な手続を経ることが考えられる」とされています。議会で決めることですが、次期教育長の任命同意にあたっては、こうした手続が必要になると思います。

市政に対するみなさんの声をお聞かせください

武蔵野市議会議員 **菅源太郎**

〒180-0006 東京都武蔵野市中町3-8-1-718

TEL. 090-3436-9761 E-MAIL info@kangentaro.com

https://kangentaro.com ● kangentaro 菅源太郎



# 令和6(2024)年度一般会計予算案を修正可決

保健センター  
実施設計予算を削除

令和6(2024)年度予算案は、各党派の14名で構成される予算特別委員会が3月12日から21日までの実質6日間審査されました。

予算案を修正可決



## 学校給食無償化は6月議会に予算提出

焦点の学校給食無償化について、市長は締めくり総括質疑で4月の徴収猶予と6月の第2回定例会に実施のための補正予算を提出すると表明しました。

## 保健センターは年内に代替案で補正予算提出か

懸案の保健センター増築・複合施設整備について、市長は審査冒頭に実施設計予算の執行凍結を表明しましたが、議会としてその予算を削除して予備費に組み込むよう修正可決しました。

市長は6月に複数の代替案を示し、7月2日を含めた複数回の全員協議会での意見を受けて、今秋には最終案が示され、年内には補正予算として提出される予定です。

# 令和6(2024)年度予算・施策のポイント

一般会計予算は約815億円と、初めて800億円を超えました。収入では市税収入が約445億円と全体の半分強を占める一方、公共施設の改築や大規模改修が相次いでいる

ため、基金からの繰入金や市債が前年度から大幅に増加しました。私の注目する予算は下記です。

### 公共施設改築・改修

一中と五中の改築工事は令和7(2025)年度中の完成をめざし、五小と井之頭小は実施設計(約63億5128万円)。そのほか、公会堂、高齢者総合センター、障害者福祉センター、市民会館、総合体育館などで順次実施。

### 平和・男女平等

平和・憲法啓発事業では、平和首長会議国内加盟都市会議総会の開催など(1133万円)。男女平等推進施策事業では、研修・啓発、情報収集・提供、団体支援及び相談など(約1949万円)。

### 子どもの権利擁護機関の設置など

子どもの権利の周知啓発、子どもの権利が侵害された際の救済等を目的とした子どもの権利擁護機関の設置など(約3815万円)。

### 学童クラブ

長期休業中の昼食について、父母会主催で行っている弁当配食での課題を解決するための方策を検討。

### 看護小規模多機能型居宅介護事業所の整備など

市有地活用による看護小規模多機能型居宅介護事業所の整備(約9476万円)。こうした介護基盤の充実が、在宅・施設両方のサービス需要を高め、保険給付増につながるため、保険料率の引き上げにも賛成しました。



### 民間井戸におけるPFASの水質調査

市内の井戸水の状況を把握するため、希望する民間井戸について、有機フッ素化合物3項目(PFOS、PFOA、PFHxS)の水質調査(約582万円)。

### 部活動の着実な地域連携

部活動指導員を現在の中学校各2名から4名に増員、制度を小学校にも拡充。部活動コーディネーターを配置(約3642万円)。

### 不登校対策と教育相談

教育支援センターの教育相談員とスクールソーシャルワーカーの支援体制を拡充。家庭と子どもの支援員(常駐型)の配置校を拡充し、校内支援体制を強化(約1億9965万円)。

# 裏金政治から「まっとうな政治」へ

裏金政治にはじめをつけられない自民党、「異次元の少子化対策」と言いながら「異次元」なのは子育て支援の財源を健康保険料に上乗せなど、岸田政権の迷走がつづいています。政権への厳しい批判は、衆院補選で自民党が不戦敗を含めて全敗、立憲民主党公認

候補が全勝する結果をもたらしました。松下玲子さんは都議2期・市長2期を経験。市長時代に、保育所増設で待機児童ゼロ、18歳までの医療費無償化などを実現した実績があります。国政を変えるため、松下玲子さんとともに活動しています。

## — 松下玲子さんと活動中 —



三鷹駅南口で朝遊説(3月1日)